

【2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会】

ホストタウンの目的と経緯

1. ホストタウンの目的

恵庭市においても、この5年間で在住外国人が倍増しており、今後の人口減少時代を併せて考えると、徐々に多文化共生社会が始まりつつあると捉えています。

多文化共生を理解するには、まず、外国人に興味・関心を持つことから始まります。今回のホストタウン事業を通じて、地元札幌市で開催されるオリンピック競技を楽しんでいただきながら、外国人を応援することによって、自然に興味・関心をもって、多文化共生を理解する良いきっかけづくりとなることを目的とし実施しました。

2. 経緯

▶2020年1月

道庁で開催された「ホストタウン拡大に向けた説明会」を受け、グアテマラの競歩選手3名のホストタウン登録を検討。

▶2020年2月

ホストタウン候補地として内定。

ホストタウンの実施にあたっては、国の支援制度である「オリパラ基本方針推進緊急調査事業費」（以下、「調査事業費」）を活用することとし企画提案書提出

▶2020年3月24日

【延期決定】東京オリンピック・パラリンピックの延期決定

▶2020年4月3日

【調印式中止】グアテマラオリンピック委員会との合意調印式中止

▶2020年9月

グアテマラオリンピック委員会と調整及び協議を再開。

▶2020年10月

事前合宿・事後文化スポーツ交流の実施について、グアテマラオリンピック委員会と基本的な合意を得る。内閣官房へホストタウン登録を申請

▶2020年11月13日

恵庭市とグアテマラ共和国オリンピック委員会が「東京2020大会におけるグアテマラオリンピック委員会と恵庭市との事前合宿・事後文化スポーツ交流の実施にかかる基本合意書」を締結し、事前合宿の実施や必要な施設及び練習環境を提供等に合意。

▶2020年12月2日

内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局に、ホストタウン第25次登録において正式登録。